歩道があれば!! 森の倶楽部

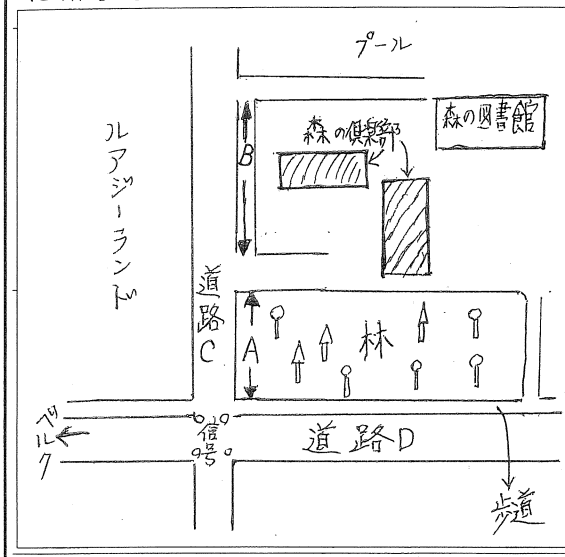
もっと利用しやすくするために

近くに高齢者の福祉センター「森の倶楽部」ができたことはとても喜ばしいことだと思っています。もっと利用しやすくするために次のようなことはどうでしょうか。

1．図のAの所に歩道を作る。図のBの所には歩道ができています。車がわりあい多い道路Cを通らずに安全に森の倶楽部や図書館に行き来できます。

2．道路Dと森の倶楽部の間にある林の中に木道などを作る。森の中を気持ちよく歩けるようになります。

（西深井　S）



いい演奏に惜しみない拍手が

イタリア演奏旅行

教会でハモる心地よさ

9月16日から10日余りイタリアへ演奏旅行に行ってきました。学生時代の男声合唱団のOBで、10年ほど前から続けているもので私の海外旅行はほとんどこれ。

今回はフィレンツェとローマで3度の演奏会。そのうち2回は教会での演奏。もともと西洋音楽の合唱は教会で発達した。石づくりの教会の中で歌うと残響が大きく、ハモる感覚は何とも言えない心地よさ。

お客様もいい演奏には惜しみない拍手をくれる。言葉はわからなくても音楽は共通語だ。ヨーロッパも異常気象が続き、今夏の猛暑や洪水などが伝えられていたので心配したが、旅行中はほとんど傘も使わず、気温も快適。ヨーロッパは空気が乾いているので少々の通り雨などで濡れてもすぐに乾く。

歴史の違いつくづく

教会や美術館、2000年前の遺跡など観光が目いっぱい詰まっていて、演奏会後もナポリへ足を延ばし、ソレントの海や海岸、ポンペイの遺跡も訪ねることができた。ベスビオス火山の爆発で町全体が灰の下に埋もれて時間が止まった。2000年前といえば日本の弥生時代に金銀細工やガラス工芸の見事なものをつくり、上下水道や浴室の整った家、工房や商店街や飲み屋、遊郭まである街並み。歴史が違うなとつくづく思う。

日本の国際的なアピールは

イタリアはスリが多いから気を付けてと散々注意された。イタリアの南北格差もなかなか解消しないし貧富の格差も大きい。

外国旅行すると日本の稀有な存在を想う。水もどこでも飲めてタダ。トイレもどこかで借りられる。外国ではほとんど有料だ。こんなに治安が良くて安全でどこでもなんでもコンビニなどで手に入ってしまうという国はない。そこで本当のおもてなしができれば、もっともっと外国の人たちも来る。

放射能でうそをついてオリンピックを招致したり、国を守ると称してせっかく確立した「戦争をしない国」というブランドを壊す政府はとんでもない、日本の国際的なアピールは別にある。　石林

辺野古承認取り消し　沖縄の決断

沖縄の翁長知事が新基地阻止のために辺野古の埋め立ての承認を取り消した。辺野古に新基地を造らせないという公約実現に強い決断をした。

私たちは、「沖縄の問題」として見てはいないだろうか。日本には全国に米軍の基地がある。基地の無い沖縄めざすこの闘いに日本国民全体がこたえていかなければいけないのではないだろうか。

沖縄の苦難の歴史を象徴するといわれる「月桃の花」の写真です。

目立たない小さな可憐な花で映画の題名にもなりました。

多くの犠牲を出した洞窟の近くで咲いていました。

（7月3日撮影　保坂）

マイナンバーは個人情報を収集・管理

住民登録している全ての人に12桁の個人番号が付けられます。そして、10月中旬から11月にかけて郵送されます。

個人番号は原則として一生変わりません。運用は来年1月です。

どうして個人番号なんか付けるのか。保険証や税申告書などはバラバラの番号を統一して、国が一元化し管理します。国は個人番号を使って社会保障や税金の情報をつかみ、さらに、所得だけじゃなく資産まで調べ「過剰や不正」をチェックして、社会保障費を減らすことを狙っています。

今は利用範囲を限定していますが、今後は範囲を増やしたいと思っています。写真付き個人番号カードの取得は強制じゃなく罰則もありません。罰則が適用されるのは不正取得や故意にもらしたりしたときです。

個人番号で国民を管理することは憲法13条（個人の尊厳）に違反します。例え取得しても紛失したりすると悪用されます。一度立ち止まって考えましょう。

国はマイナンバーで国民を管理し、税金の徴収強化や社会保障削減など「戦争法」強行で戦費調達の体制づくりと一体です。みなさんの力で廃止させましょう。

東深井　K

北部後援会年末恒例

◆シクラメン販売します。

価格　二千五百円

申し込み締め切りは　11月20日（金）

配達は　11月28日（土）・29日（日）

◆つきたて一升餅　1枚　1700円

焼き海苔（半切り100枚入り）1300円

申し込み締め切りは　11月25日（水）

配達は　12月27日（日）・28日（月）

「ニュースあすなろ」が200号に

日本共産党北部後援会の「ニュースあすなろ」（深井支部地域）が200号を迎えました。読者のみなさまご愛読ありがとうございます。毎月1回の発行で、高野ともさんから植田和子議員へバトンをつないできました。「ニュースこぶし」（北支部地域　155号）も植田議員になってから同じ内容で発行してきました。今後もみなさんのご助力をいただき、地域新聞として頑張ってまいります。よろしくお願いいたします。　編集部

普天間をこのままにしておけないのはもちろん。日本国中から米軍基地を無くす闘いにしていこう。

国民の知らないところで国民に不利益なことがまかり通っていく、ひどい政治に一刻も早い退場を突きつけるためにも、沖縄の闘いを全国に発展させよう。

Y・K

あすなろ川柳

●「女性」から「一億」総活躍へ
衣替え

女性の活躍……さっぱり成果なし。そこで今度はもっと大風呂敷

●一億に
俺は入らぬ
失業者

失業者、年金者、病人……生きるのに精いっぱい。　総活躍もできぬ

●武器輸出
保険もサービスの
積極さ

死の商人の輸出リスクを政府が税金で面倒みる。これが積極的平和主義？